

令和7年度3月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

【 会議名称 】 令和7年度3月期古賀市社会教育委員の会議

【 日 時 】 令和8年3月24日（金） 18時30分～20時00分

【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室

【 内 容 】 ・令和7年度 古賀市社会教育委員活動報告書について
・来年度の活動内容について

【 出席委員 】 園議長、石川委員、梅谷委員、江口委員、大賀委員、倉掛委員、坂崎委員、藤田委員（以上委員8名）

【 欠席委員 】 安部委員、橋爪委員

【 事務局 】 生涯学習推進課長、職員2名

【 傍聴者数 】 0名

(資料)

レジュメ

1. 協議事項

- ・令和7年度 古賀市社会教育委員活動報告書について

(事務局)

令和7年度古賀市社会教育委員の活動報告書の中に、笑顔のつどいの振り返りについて、社会教育委員の皆さんから提出いただいた意見を掲載する予定である。ご確認いただき、修正等あれば、3月27日(金)までにご連絡をいただきたいと思う。

(園議長)

振り返りの中にも次年度に向けての意見やアイデア、改善点が書かれてあるので、これらの意見をもとに来年度の取り組みについて考えていけたらと思う。

- ・来年度の活動内容について

令和8年度 笑顔のつどいについて(時期など)

(園議長)

今年度が笑顔のつどいの10回目に当たるということで、最初のスタートの時には、10回までの取り組みを1つの括りとして考えられていたようだが、11回目を行うべきかどうかについては、私はむしろ行った方が良いと考えている。11回目をもとに、会議を進めていく方が良いのではないかと思う。

時期については、2月の第1日曜日が良いのではないかと思う。12月頃までゆっくり考える時間があり、1月までは行事が多いため、その時期が最適だと思う。

それでは、2月7日の日曜日で進めていきたいと思う。それに関連して、来年度の会議の運営について、今年度は、新しいメンバーが加わったことで、それぞれの関心を出し、そこからスタートした経緯があるが、来年度もそれぞれの取り組んでいる内容を報告として出してもらい、その中からテーマを考えていければと思う。何か他にやり方や、良いアイデアがあれば、ご意見をお願いします。

(倉掛委員)

一昨年は笑顔のつどいの参加者が少なかったのだが、そもそも誰に向けて何を発信したいのか考えずに登壇者を決めてしまい、発信力がなかったと感じた。

古賀市の社会教育委員の活動としては、今までは提言集を出したり、他市では他の団体を見

に行ったり、話を聞きに行ったりしてる。今回の東小学校の PTCA の講演会をしたときに、今は母親の社会教育の学びの場が非常に限られていると感じた。かつては学校単位での活動も盛んだったが、今はあまりなくなってきた。それでも参加した方々と講演を聞いたことについて話し合うことは有意義だった。例えば、女性の方々がどんな気になるテーマを持っているか考え、そのテーマを基にした集まりを作ることができれば、良いなと感じている。まずは、そのようにして活動を進めていけたらと思う。

(梅谷委員)

社会教育委員それぞれが日々課題を持って地域活動をしている。笑顔のつどいは、その集大成として社会教育委員が何かしら発信できるのであれば、講演会でもいいと思う。やり方は、今まで通りでなくても今後のみんなの活動の中で出てくるのではないか。

(倉掛委員)

今は、小中学校の親がなかなかつながりを持ってない。一人で子育てされる親もいる。学校も働き方改革で教師の時間を優先している現状もある。不登校支援の交流会に参加し、深刻に一人で抱え込んでいる親もいると感じた。

(梅谷委員)

多様な価値観が入る気がするが、入ってこない。インターネットには多くの情報があるが、人とのつながりによる情報交換は減少している。そのため、孤立感が強まっている時代なのかもしれない。本来ならば、これだけ情報が豊富であれば、すぐに調べたり相談したりできるはずだが、自分の日常生活や背景を理解してくれる対面でのアドバイスとは全く異なる社会になっている。

(園議長)

では、来年度の会議の持ち方については、それぞれの委員の活動や、現状の気づいたことで進めてよろしいか。それでは、一人ずつご意見をお願いしたい。

(藤田委員)

社会福祉協議会の業務の中で、私自身は、地域の課題に触れる機会はなかなかないが、個人的には来年度の保育園の保護者会の会長となり、同じ世代のお母さんとのつながりを持つことは大切だと感じた。

(坂崎委員)

今回、3 団体に発表いただいたが、発表内容はお任せだったので、1 回会議に来てもらって、学びの機会として、内容を掘り下げてもいいのではないか。

また、会議の中で団体を呼んで、話をしてもらおうようお願いをするのもいいのではないかと
思った。

(大賀委員)

いろいろな団体とつながりがほしいと思った。笑顔のつどいが終わった後もちょっとした
きっかけがあればつながると学んだ。笑顔のつどいについて、過去の振り返りも見てみた
と思う。昔はPTAの講演会の学びの場があったが、今は少ないのでつながりができる学
びの場があったらいい。

(梅谷委員)

今は、世の中に気を使って学びの場が減っていると思う。学ばないと意識が変わらない。学
ぶことで考え方が変わることもある。高齢者もアンケートで見ると年々つながりが減って
いると回答している。災害が起こると地域のつながりへの意識も変わると思う。

(江口委員)

本年度糟屋区PTAの担当として、さまざまな意見を伺ってきた。地域差があり、糟屋区
PTAを脱会する自治体も存在する。

現在の古賀市PTCAでは、「できる人ができる範囲で関わる」という考え方が広がってい
る。コロナ禍以前は役員の選出に苦勞することも多くあったが、教員にとって支えられる場
面も多く、その意義は大きかった。また、成人教育の重要性も改めて感じられている。さら
に、学年・学級委員がなくなったことで、気軽に相談できる場が減ってしまったという課題
もある。現在は「参加が当たり前ではない時代」となっているが、それでも価値のある取り
組みは残っていくものと考えている。

特に、横のつながりを築くことは非常に重要で、組織がなくなることで孤立してしまう人が
出てくる可能性もあり、さまざまな立場の人への配慮が求められている。

今後は、「笑顔のつどい」や講演会など、参加しやすく前向きな発信の仕方も工夫してい
くことが大切だと考えている。

(石川委員)

去年に引き続き、いい方向に進んでるとは思うので、来年はやり方を少し変えてみるのもいい
と思う。

(梅谷委員)

過去がよかったからといっても過去には戻せないなので、どういうアプローチでしたら参加
者が喜んで学んでくれるのかということが難しいと感じる。

新たな環境の中で学びを再構築し、発想の転換が必要だと思う。

(園議長)

みんふるやと別の団体との連携について経過が聞いてみたいと思う。みんふるやの今後の活動について坂崎委員からお願いします。

(坂崎委員)

市の事業として、3月下旬に古賀市の子どもたちを対象に5000円分の図書カードが配布されるため、みんふるやと一緒に、ナツメ書店で子どもたちに本のアドバイスをしてくれるよう準備をしている。中学生にもナツメ書店のことを知ってもらいたいと思い、中学校に掲示する紹介を作成している。

(園議長)

寺子屋の中でみんふるやの本棚を置くことは、やりやすいのではないか。そうやってネットワークを広げていき、次の会で発表いただければ、より一層認知度が上がると思う。来年度の笑顔のつどいも来てくださった方が、今回のように参加してよかったと思えるよう開催し、社会教育の実情を知ってもらうことと、ネットワークが広がるような会にしたいと思う。

3. その他

(1)各委員から

連絡なし

(2)事務局から

4月1日付の人事異動について

(3)次回開催日程

4月 24 日(金) 18:30 ~ 会場: 103洋室

4. 閉会